

# 未来への軌跡

志を持ち、未来を創ろう！ 気付き、考え、動く 翁中生

翁頭中学校だより  
8月9日 第9号  
文責 校長 山下



長崎に原爆が投下されてから七十七回目の夏を迎えました。長崎市の平和公園では、毎年平和祈念式典が行われています。8月9日は、「県民祈りの日」であり、決して繰り返してはならない戦争の恐ろしさ、そして、これからも続けなければならない平和の尊さを考える日です。本校でも、6月下旬から各学年で設定したテーマを基に、一人ひとりが平和について考えを深めました。

## 学年テーマ

- 1年：原爆について（長崎・広島）
- 2年：戦争の恐怖（沖繩戦、特攻隊など）
- 3年：世界と日本（外から見た原爆と日本の戦争）

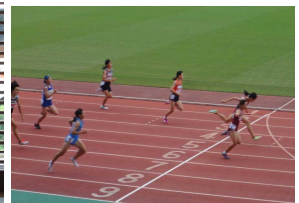
私たちは、人類史上初めて原爆を落とされた被爆県民として、この地球から一刻も早く戦争のない平和な世界を築き守ることを願って、毎年平和集会を実施しています。今日の平和集会では、山口・野口両実行委員長を中心に実行委員で準備を進め、各学年からの発表や実行委員による被爆体験をもとに作成された絵本の読み聞かせを行いました。最後に、翁頭宣言から、「親和」思いやりの心を持ち、仲間と助け合う」という思いを持ち続けることの大切さを実感しました。

私からは、10歳の時に、長崎で被爆した父の体験をもとに話をしました。父は、長崎市稲佐町で被爆しており、8月9日11時頃、叔母さんから、「御飯よ」の声で家の中に入ったため助かりました。外で遊んでいた子どもたちは、みんな身体中大やけどだったそうです。もし、「御飯よ」の声かけがなかったら、生きていなかっただけかもしれないと言っていました。平和とは、「戦争や紛争がなく、世の中が穏やかな状態にあること」。全世界の人口は現在約77億人。一人ひとりがかけがえない命を授かった大切な人です。自分のことだけでなく、他の人たちのことも大切に思うことを忘れてはいけません。この一人ひとりの思いが「平和」な世界を築くことにつながると 생각합니다。私たちも、ふるさとのため、家族のため、地域のため、友人のためなど、自分に何かできることを考え、実践することで、平和な世界を築いていきましょう。

## 県中総体・九州大会報告

7月23日・24日の両日、県中総体が行われました。本校からは、40名の生徒が選手として参加し頑張りました。

陸上では、1年女子一〇〇mに黒川愛唯さんが出場し見事優勝、九州大会でも5位に入賞しました。また、柔道女子個人では、2年の城山舞佳さんが見事優勝、九州大会ではベスト8に入りました。さらに、男子個人3年の才津海璃さんと1年の大野瑛太さんは、3位入賞を果たしました。



どの選手も、五島市代表として、堂々と戦いました。この経験を自分の力にするともに、後輩にぜひ伝えてほしいと思います。主な成績は次のとおりです。

- 陸上競技**
- ・1年女子100m 1位 黒川愛唯
  - ・共通男子砲丸投11位 山口大地
- 柔道競技**
- ・女子個人63kg級 1位 城山舞佳
  - ・男子個人50kg級 3位 才津海璃
  - ・男子個人55kg級 3位 大野瑛太
- ソフトテニス競技**
- ・女子団体1回戦 対西大村中敗退
  - ・男子個人1回戦 対南串中敗退

## 駅伝練習頑張っています！

7月末から駅伝練習が始まりました。男女合わせて25名の選手候補が、厳しい暑さの中、早朝から練習を頑張っています。時間がある時には、ぜひ練習を見に来てください。



<虹をバックに練習>

### 【駅伝大会の思い出】

私が中3の時、「学級対抗駅伝大会」なるものが新設された。岐宿中学校を周回するコースで、3年生として、他学年はもちろん、他学級にも負けるわけにはいかない。我3年A組は、大会の1か月前から毎日のように練習した。

自分一人だけの練習では、間違いなく途中で脱落していたと思う。ところが、絶対に他の学級に負けたくないというライバル心と、襷の重みにより、きつい練習に耐えることができた。大会当日、私自身はよい走りではなかったが、アンカーがライバル学級を抜きトップでゴールした。本当に嬉しかった。たかが「校内駅伝大会」だったかもしれない。しかし、我3年A組が一つになったと思った瞬間だった。駅伝は素晴らしい。